

健康福祉常任委員会・ 予算決算常任委員会健康福祉分科会

委員長 西尾 隆博 副委員長 来海 恵子
委員 濱元幸一郎 委員 大住 清昭
委員 青山 隆幸 委員 濱口 正晴

文教経済常任委員会・ 予算決算常任委員会文教経済分科会

委員長 後藤 修一 副委員長 上田 欣也
委員 坂本 早苗 委員 青木 照美
委員 松本 龍一 委員 澤田 雄二

〔常任委員会〕
合志市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例
 問 福祉事務所が合志庁舎に移転することに伴い、今まで西合志庁舎で相談されていた方への対応は考えているのか。
 答 西合志庁舎には総合窓口課が残るので、しっかりと連携をとり対応したい。また社会福祉協議会とも連携をとり、相談者を福祉事務所へつなぐ等の方法を検討していきたい。

平成30年度合志市国民健康保険特別会計予算
 問 都道府県化による制度改正に伴い、一般会計からの法定外繰入金について計上されておらず、国保財政調整基金により補填を行うようだが、引き続き法定外繰入を行うことは出来ないか。
 答 これまで一般会計からの法定外繰入により補填を行ってきたが、国保財政調整基金の積み立てがあるためしばらくは基金にて補填を行いたい。法定外繰入や税率の改正については、制度改正後の状況を見極めた上で検討したい。

〔反対討論〕 一般会計からの法定外繰入を廃止しているため反対である。

〔賛成討論〕 市民の負担を抑えるための基金繰り入れであるため賛成である。

〔分科会〕
平成29年度合志市一般会計補正予算
 (福祉課)
 問 時間外勤務手当に関連して、生活保護ケースワーカーの業務量が今後さらに増加すると考えられるがケースワーカーを増やすべきでは。
 答 人事班にも状況を説明し、増員の協議を行っている。
 (子育て支援課)
 問 延長保育について補助金の交付対象になるのは。
 答 1時間延長の補助については、1日平均6人以上預かった場合であり、30分延長は、同一人以上預かった場合に対象となる。

平成30年度合志市一般会計予算
 (福祉課)
 問 生活保護の制度、申請の方法等についてもっと発信していくべきでは。



レンガの家

〔健康づくり推進課〕
 問 こころの相談事業の委託料が前年度と同額だが、相談件数は落ちているのか。
 答 専門医への相談人数は1回当たり9〜10人程度で推移している。それ以外の電話相談等の支援は保健師が実施している。



老人クラブ活性化にかかる提言書検討委員会

〔子育て支援課〕
 問 病児・病後児保育事業の利用について、予算増額の要因は。
 答 熊本市と連携協定を結んでいるため熊本市内の施設も利用でき、熊本市内の施設利用者が増えていることによる増額である。

〔高齢者支援課〕
 問 老人クラブ会員減少を防ぐための施策は。
 答 1月に老人クラブ活動活性化に向けた提言書を作るため委員会を立ち上げ、3月に研修を予定している。



木原野配水池

〔常任委員会〕
平成29年度合志市水道事業会計補正予算
 問 資本的支出・建設改良費の委託料及び工事請負費の減額に関する詳細は。
 答 木原野配水池施設整備事業の委託料及び工事請負費を精査したことによる減額である。

平成30年度合志市下水道事業会計予算
 問 資本的収入・受益者負担金の計上に関し、前年度より倍増しているが要因は。
 答 竹迫地区開発及び自衛隊演習場付近の開発により増額となった。

〔分科会〕
平成29年度合志市一般会計補正予算
 (生涯学習課)
 問 消耗品等の減額に関連し、マラソン大会の参加者が少なかった理由は。
 答 小学校の土曜授業と重なったこともあり、翌年度以降行事の調整を事前に行いたい。
 (農業委員会)
 問 旅費の執行残の額が大きい理由は何か。
 答 農業委員総会、農業委員と農地利用最適化推進委員との合同勉強会、県が行う研修会に参加が少なかったためである。
 (都市計画課)
 問 合生住宅建替えのPPP・PF1の導入調査の結果に基づく今後の計画・検討は。
 答 結果報告書の提出を受け、庁内委員会、学識経験者等による検討委員会による検討を行う。
 (建設課)
 問 道路新設改良費の公有財産購入費の減額理由は。
 答 当初、雨水排水を道路拡幅により対応を予定していたが、現地に再調査を行い、道路の拡幅は必要でなく、道路の高さの調整により対応可能となったため、用地買収が不要になったことによる減額補正である。
 (学校教育課)
 問 小中学校新設事業の今後のスケジュールは。
 答 当初、雨水排水を道路拡幅により対応を予定していたが、現地に再調査を行い、道路の拡幅は必要でなく、道路の高さの調整により対応可能となったため、用地買収が不要になったことによる減額補正である。

〔学校教育課〕
 問 小中学校新設事業の今後のスケジュールは。
 答 当初、雨水排水を道路拡幅により対応を予定していたが、現地に再調査を行い、道路の拡幅は必要でなく、道路の高さの調整により対応可能となったため、用地買収が不要になったことによる減額補正である。

〔学校教育課〕
 問 小中学校英語指導講師配置事業について、来年度より小学校の英語教科化移行に伴い、英語指導講師を2名増員することだが、その予算の財源は一般財源である。市の補助制度等はないのか。
 答 市町村に対する国からの補助イムスケジュールは。
 答 設計施工一括発注(デザインビルド)の公募を平成30年3月中旬から下旬に行い、事業者選定及び契約を夏頃に見込んでいる。用地取得については平成30年12月頃に財務省と契約したい。また、敷地造成及び校舎建築については約2年間の工期で工事完成目標を平成32年12月末としている。

〔人権啓発教育課〕
 問 人権意識に関する市民アンケートの質問事項についてはどのように考えているか。
 答 前回と同じ質問を行い比較していくことも重要だが、5年前とは人権に関する社会情勢も変化しているため、「合志市部落差別等をなくし人権を守る審議会」の方々に内容を精査していただき、市民の声を受けながら作成していきたい。

〔農政課〕
 問 ため池のハザードマップについて説明してほしい。
 答 県が人的被害が予想されると位置付けている3カ所のため池に100%の県補助事業でハザードマップを作製する。



市道高木線

〔建設課〕
 問 骨格予算の関係で、道路関係予算が前年度に対し減額になる理由は。
 答 道路関係予算のうち、維持管理費については満額を計上しているが、道路の新設や舗装の打ち替え工事等については、6月補正を予定している。